

小城市立岩松小学校
学校だより 第30号



岩松小だより

令和7年11月21日発行
発行者 校長 真子靖弘

温かい応援メッセージに感謝—アンケート結果報告—

先日は「いじめ・体罰調査アンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からの貴重なご意見の集計結果と、学校としての対応についてご報告いたします。



<アンケート結果と対応について>

いじめ：既に認知し、教育委員会へ報告済みのものを除き **1件** 覚知しました。現在、関係児童への聞き取り等を実施しています。

体罰：**0件** でした。

指導：「行き過ぎた指導ではないか」とのご指摘を **1件** いただきました。該当職員への指導と、全職員で発達支持的生徒指導の再確認を行っています。

現在、学校では「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめの認知・対応を行っています。

<いじめの定義> 一定の人的関係がある児童生徒間で、心理的または物理的な影響を与える行為（ネット上も含む）であり、対象となった児童生徒が「心身の苦痛を感じている」もの。 ※「いじめ防止対策推進法」の中の定義

かつての「一方的」「継続的」といった条件は必須ではなく、一見「けんか」や「ふざけ合い」に見えても、**本人が苦痛を感じていれば「いじめ」として対応します。**これは、事態が深刻化する前に、早期発見・対応することが極めて重要だからです。

これまでもお伝えしている通り、**学校は**様々な価値観を持つ子どもたちが集う「**小さな社会**」です。**子どもたちは、時に小さな衝突や失敗を繰り返し、そこから他者との関わり方を学びながら成長していきます。**私たち教職員は、**命や人権にかかわる問題には厳しく指導してまいります**が、それ以外の成長過程における試行錯誤については、**子どもたちが自ら乗り越えていく時間を見守ることも大切だと考えております。**



引き続き、日頃から子どもたちの表情に注意を払い、**毎月の「心のアンケート」や「教育相談週間」**などを通じて、**いじめの早期発見に努めてまいります。**お

子様の様子が少しでも気になることがございましたら、いつでも担任や管理職までご相談ください。

最後に、**自由記述欄**には、**職員の励みとなる温かい応援メッセージを多数いただき、心より感謝申し上げます。**数例、ご紹介させていただきます。

- ・「担任の先生は硬軟織り交ぜるのが上手く、子供がやる気を出し、褒められるために頑張る事が増えました!」
- ・「感情のコントロールが難しい息子にいつも寄り添っていただいて感謝しています。」
- ・「のびのびとできる雰囲気をつくっていただきありがとうございます。」
- ・「先生方から、全体におけ、わからないことは恥ずかしいことではないという指導をいただいているようで、本人も自信をなくさずおれるようですし、周りも軽視するようなことなく、のびのびと自己肯定感を保ち生活できているようで有難いです。」
- ・「学級通信等で学校での様子が伝わりありがとうございます!」
- ・「学校生活楽しんでいるのが伝わってきます。メリハリをつけて接してもらっていることがとてもいいようです。」
- ・「上手くできなくても頑張ってみようという気持ちを先生方に育てていただいていると感じています。」



今後とも、子どもたちが安全で安心な学校生活を送れますよう、教職員一同尽力してまいります。引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学ぶ意欲をサポート!—家学がんばろう!週間—

今週は「**家学(うちがく)がんばろう!週間(11/17~21)**」を実施しました。家庭学習の目安時間を意識し、集中して机に向かう習慣はつきまじったでしょうか。昼休みには相談室で**廣末先生**による学習支援も行われ、**課題のフォローや自主学習に取り組む子どもたちで賑わいました。**この週間をきっかけに、家庭学習の習慣をさらに定着させていくことを期待します。

